


小康状態を保っていた非製造業の状況が一転して悪化

10月の情報連絡員報告によると先月大幅に悪化した製造業の売上高DI値は10ポイント以上改善した。一方、製造業と比較して大きな変動の無かった非製造業の数値は売上高、収益状況、業界の景況ともに一転して悪化した。又、中国との関係悪化による影響を伝える声が増加しており、関係改善を望む意見も寄せられている。

【製造業62人、非製造業、88人、計150人の集計】

前年同月比のDI値

項目	全産業	製造業	非製造業
	前年同月比	前年同月比	前年同月比
売上高	 -34.7	 -27.4	 -39.7
在庫数量	 -11.1	 -3.2	 -18.8
販売価格	 -16.4	 -11.2	 -20.0
取引条件	 -20.0	 -17.8	 -21.6
収益状況	 -46.0	 -38.7	 -51.1
資金繰り	 -32.7	 -25.8	 -37.5
設備操業度	 -24.2	 -24.2	—
雇用人員	 -10.0	 -4.8	 -13.6
業界の景況	 -47.3	 -40.4	 -52.3

※DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標です。(−100≤DI値≤100)

DIの計算方法…増加・好転と答えた割合−減少・悪化と答えた割合

【例:調査数「20」のうち好転が「4」、不変が「6」、悪化が「10」とした場合…(4−10)/20×100=−30】



30以上



10以上
30未満



−10以上
10未満



−30以上
−10未満



−50以上
−30未満



−51以下

平成24年
10月

業 界 の 声



製 造 業			
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等	
食料品	中華麺製造業	得意先であるラーメン店や飲食店の状況が非常に厳しい。支払の遅延や値引き要請が頻繁に起こるなど、取引状況は悪化している。	
	繊維・同製品	帽子製造業	残暑が続き、秋物商品の動きが悪い。そうした中で、保温性が高いなどの機能性素材を使用した商品は比較的好調であった。最近の顧客は気候の変化に敏感に反応して商品を購入している。なお、中国人観光客が多い地域の組合員は苦戦が続いている。
		ネクタイ製造業	ネクタイ輸入の91%は中国製品となっている。中国からの輸入に支障が無いように方策を講じていただきたい。
		帆布製品製造業	9月、10月と景況は大きく悪化し、前年同月比の売上は大きく落ち込んでいる。今年はこの状況が年末まで続くのではないかと、不安の声が上がっている。
		洋服製造業	個人事業者など零細組合員にとって、最低賃金の上昇は大きな負担である。
	ニット製品製造業	猛暑が長く続いた影響により秋冬物の販売が低調で、業界の景況は極端に悪化している。	
木材・木製品	木材製造業	現在の状況が続けば、組合員の倒産が増加することは必至である。今後の展望が開けず、不安感が増大している。	
	建具製造業	新規住宅着工件数が増加したことにより、緩やかながら持ち直しの動きが見られた。このまま秋の需要増加に繋がっていくことを期待している。	
印 刷	印刷加工業	電気料金が2割増しとなった組合員がいるなど、コストが増加したため、収益を上げることが出来ない状態となっている。	
	印刷業	年末に向けての需要の高まりが見られない。また、組合員数の減少が続いているが、一時ほどの大量脱退となっていない。	
化学ゴム	ゴム製品製造業	中国向けの生産を行っている企業は苦戦している。一方で、国内向けの販売量は幾分回復した。中小企業金融円滑化法が期限切れする来年は、さらに状況が悪化することが懸念される。	
	プラスチック製品製造業	受注量は若干増加傾向にあるが、注文のロットが小さい。	
鉄鋼・金属	金属熱処理業	中国経済の景気減速により、様々な分野のユーザーが受注量を減らしていることから、組合員も大きな影響を受けている。また、欧州経済の悪化も不安材料となっている。	
	ダイカスト製品製造業	中国向けの自動車の減産等が組合員に与えた影響は非常に大きく、生産量は減少している。	
	缶製造業		10月は需要期であり、過去四年間は前月比で約10%ほど売上が増加していたが、今年は横這い、もしくは微増に留まっており、苦しい展開となっている。
			食品容器が缶から他のプラスチック素材等に変更されるケースが増えており、業界全体の売上量の縮小に繋がっている。
	鍍金加工業	組合が毎月実施している調査によると、前年同月比の売上はマイナス4.9%と今期最悪の数字を記録した。また、受注量の減少と電気料金の値上げによるコストの増大が収益を圧迫している。こうしたことから組合員の経営状況は非常に厳しくなっており、年末にかけて運転資金の借入必要額が増大すると思われる。	
	鋳物製造業	相変わらず売上の増加が見込めず、先の見えない状況となっている。	
建築金物製造業	売上は増加傾向にあるものの、今後の見透しは不透明となっている。また、住宅着工件数の予測が難しい状況にある。		

輸送用機器	自動車部品製造業	前年の同時期は予想に反して受注量が急増し、期間工の募集に苦労した。このため今年は生産量が増加するとの予想のもと、期間工の募集を行ったが、一転して受注量は減少し結果的に期間工を必要としない事態となった。
	遊技機製造業	パチンコホールの経営状況が悪化していることから、新台の販売が伸び悩んでいる。市場が活気づくような人気台の登場が望まれる。
その他の製造	農業機械製造業	円高による輸出の減少等による先行きの不透明感が増大している。
	スポーツ用品製造業	ゴルフウェアの国内市場規模は対前年比で98.8%の905億円となった。対前年比でマイナスとはなったものの縮小幅は小さく、ゴルフクラブを抜いて、ゴルフ用品の中で最も売上の大きい商品となった。スーパークールビズが一般化しゴルフウェアが日常着として活用されていることも売上を維持している要因であると考えられる。
	貴金属製品製造業	売上等に動きが出て来ているとの声が一部組合員から出ている。
	ガス圧接業	稼働率が上昇しているが、景気の回復実感は無い。組合の共同購買の実績が伸び悩んでいることが、組合員の悪化状況を如実に現している。
	造花製造業	賛助会員が一社、廃業のため組合を脱退した。

非 製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	ニット製品卸売業	急激に気温が下がっていることから、ニット製品の売上増が期待される。ただし販売競争が続いており、経営環境は厳しい。
	眼鏡卸売業	組合がイベント等を実施する際に、長年協賛してくれた眼鏡レンズメーカーが会社更生法の適用を申し立てる事態となった。組合員の多くがこのことに落胆している。
	美容用品卸売業	顧客である美容サロンが、商品仕入れ先である美容用品メーカーと連携して増客運動を展開している。
	医薬品卸売業	今年は2年ごとに行われる薬価改定の年にあたる。従来、薬価改訂時には売上に変動があるが今年は動きが見られず、例年になく厳しい状況となっている。
	紙卸売業	秋需が発生するどころか、前年同月比の売上は80%と非常に厳しい状況となっている。
	玩具卸売業	先月に引き続き、厳しい状況に変化はなく、目立った動きも見られなかった。業界はクリスマス・正月商戦に向けて全力を注いでいる。
	木材卸売業	荷動きは若干出て来たものの、秋需と言えるほどではない。販売価格も弱含みであり、盛り上がりには欠ける。
	電線卸売業	工事用電線の売上は依然として回復していない。東北の震災被災地の復興需要が本格的に発生するのは来年度以降になる見込みである。
	再生資源卸売業	60年にわたって再生資源卸売業を営んでいた組合員の経営者が病気となった。後継者がいないため廃業となり、組合を脱退した。
	青果卸売業	仕入価格は前年同月比で90%となった。
小 売	銅製品卸売業	売上を始めとして、月を追うごとに状況は悪化している。
	鶏肉・鶏卵小売業	鶏肉や卵の供給量がやや減少傾向にあり、仕入価格も上昇している。ただし、消費量が上向いているため、売上は前年同月の水準を維持している。
	鮮魚小売業	電気料金値上げの影響が徐々に現れている。
	酒小売業	東北産の商品の売上が伸びないなど、原発による風評被害が現在も続いており、困惑している。
	包装材料小売業	荷動きが少なく、景況は相変わらず低迷している。また、組合からの脱退者が増加している。
	電器製品小売業	相変わらず家電不況が続いている。現在組合では年末に向けてLEDシーリングライトの販促に取り組んでいる。
	眼鏡小売業	組合員店舗への来客数が減少し続けており、極めて厳しい状況となっている。
	中古自動車小売業	9月までの売上は好調であったが、10月に入り減少傾向となっている。

小 売	古書籍小売業	組合は古書店の開業希望者を対象に「古本屋になるには講座 2012」を開催したところ、約 100 名もの受講申込みがあった。
	衣料小売業	漸く平年の気温に戻ったものの、顧客の買い控えは相変わらずとなっており、前年同月比の売上は大きく落ち込んだ。
	食器小売業	陶磁器の窯元や産地の問屋の倒産、廃業が相次いでいる。飲食業界の不況や一般家庭の生活様式の変化が食器の需要減少を招いている。
	文具小売業	売上高は前年同期比で大きな変化はないが、ユーザーの低価格指向が続いており、収益状況が悪化している。また、官公庁が実施している競り下げ方式の入札により、官公需の利益も薄い。
	塗料小売業	塗料価格は値上がりしているにもかかわらず、ユーザーへの価格転嫁が出来ないため、収益状況が悪化している。
	食品小売業	店頭売上の前年割れが続いているが、月を追うごとに悪化の度合いを増している。特に売上構成比の中で多くを占めている生鮮品が厳しくなっているため、季節物を中心に生鮮品の販売促進を行う予定である。
	家具小売業	景気が回復する兆しが感じられない。
	米穀小売業	今年の米の作況指数は全国平均で 102 ポイントと豊作を示しており、約 28 万トンの供給過剰となる見込みである。それにもかかわらず仕入価格は高止まったままであり、特に業務用の低価格米の値上がりが顕著となっている。また、新米の時期は農家から親類縁者に送られる縁故米が増えるため、小売店の売上が減少している。
	豆腐小売業	営業不振と組合員の高齢化により廃業者が続出している。
	青果小売業	都内各所の青果市場で一般消費者を対象とした販売市が開かれ盛況となったが、周辺の小売業者には少なからず影響がある。 ミカンやリンゴ、柿といった旬の果物の販売が低迷している。
商店街	銀座	中国人観光客が減少している。10 月は銀座の各団体と共催で集客イベント「オータム銀座 2012」を開催した。
	合羽橋	毎年開催している秋のイベント「第 29 回かっぱ橋道具まつり」は過去最高の約 40 万人の来街者を数え、組合員の売上増にも大きく貢献した。
	仙川	組合が管理運営する駐車場の利用者が減少しているため、原因を調査している。
	目黒	売上は依然として低調ではあるものの、落ち着きを取り戻しつつある。
サービス	複写業	主な顧客である建設、設計関連業界から発注される図面関係の仕事の減少が著しい。顧客の複写機器導入と図面のデジタルデータ化が複写需要を急速に減少させている。この現状を打破する為には新分野の開拓が必要である。
	廃棄物処理業	廃棄物の排出量が 3 年連続で減少しており、収益状況は悪化している。
	公衆浴場業	電気料金の値上げが実施され組合員はますます厳しい状況に置かれている。組合ではピークシフトプランなどの電気料金メニューを導入することを組合員に呼びかけている。
	自動車整備業	ディーラー系の整備業者と比較すると、組合員の状況はさらに厳しい。組合員の倒産件数が昨年に比べ増加傾向にある。
	クリーニング業	東日本大震災後、売上は減少したが、今年は平年並みの実績を上げられると予想していた。しかしながら、期待したほどの回復状況にはなっていない。
運 輸	貨物自動車運送業	世界的な景気の減速と円高による輸出量の減少が業界に悪影響をもたらしている。 売上高は前年同月比を維持はしているものの、貨物量の小ロット化により運送効率の悪化と高コスト化を招いている。このため組合員の業績は悪化しつつあり、資金繰りが厳しくなっている。
	港湾運送業	海外の景気減速が貨物の取扱量にどのような影響をもたらすかを注視している。
建 設	内装工事業	出口の見えない不況感が業界に漂っている。零細組合員ほど状況は厳しく、廃業による組合からの脱退者が増加している。

✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主な要望事項
繊維・同製品	ニット製品製造業	来年、中小企業金融円滑化法が期限を迎えた後の中小企業に対する支援体制の構築を要望する。
	帆布製品製造業	本来9月、10月は繁忙期となっているが、仕事は非常に少ない。こうした厳しい現状を認識していただき、景気の打開策を講じていただきたい。
	帽子製造業	日中間貿易が安定して行える仕組みを作っていただきたい。
鉄鋼・金属	金属熱処理業	相変わらず電気、ガスの価格が高止まりとなっており、経営を圧迫している。中小企業への支援策の拡充を期待している。
	建築金物製造業	住宅建設振興策の実施を是非ともお願いしたい。
木材・木製品	木材製造業	自助努力は限界に近づいている。更なる景気対策と、木材の利用促進策を講じていただきたい。
その他の製造	ネームプレート製造業	最低賃金の引き上げは中小企業にとって非常に厳しい。施策の見直しをお願いしたい。
卸売	再生資源卸売業	円高是正策を講じていただきたい。
小売	青果小売業	消費増税が実施された際には零細小売店も外税方式を導入せざるを得ない。このため対応方法の指導をお願いしたい。 特に学校給食を扱う組合員は現在も福島県産の青果物を避けざるを得ない状況が続いている。小売業者による福島県産品の販促努力にも限界があり、行政には何らかの対策をお願いしたい。
	酒小売業	酒小売店をはじめ、商店街を構成する零細店舗の廃業が続いている。商店街を消滅させないための施策を講じていただきたい。
	自動二輪小売業	自動二輪車は軽量で乗車人数も少ないにもかかわらず、NEXCO（高速道路会社）では軽自動車料金、首都高では普通自動車料金と割高な通行料金の設定となっている。高速道路料金の値下げを行うことで、二輪車の高速道路利用の大幅な増加が見込まれることから是非とも料金改定の検討をお願いしたい。
	家具小売業	消費者が実感できる景気刺激策を講じていただきたい。
サービス	複写業	中小企業は仕事の確保と経費削減に精一杯取り組んでいるが限界にある。中小企業への各種補助金制度を拡充させるなど、振興策の拡充をお願いしたい。

（工業振興課 コールセンター 電話 0120-805-071）